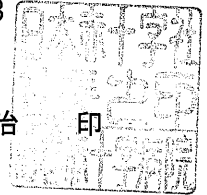


石病地第 176 号
令和元年10月2日

宮城県知事 殿

申請者 住 所 東京都港区大門1-1-3
氏 名 日本赤十字社
社長 大塚 義治



地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

I 概要

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒105-8521 東京都港区大門1-1-3
氏名	日本赤十字社 社長 大塚 義治

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

石巻赤十字病院

3 所在の場所

〒986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下71番地	電話 (0225) 21-7220
-------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	4床	床	床	460床	464床

II 業務報告

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率 A/B - (C+D+E)	78.5%	算定 期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率 F/B - (C+D+E)	85.8%		
算出 根拠	A：紹介患者の数	12,131人	
	B：初診患者の数	28,306人	
	C：地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る、平日日中のみ）	1,338人	
	D：休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る、休日・夜間の救急車を含む）	11,002人	
	E：健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	505人	
	F：逆紹介患者の数	13,272人	

(注) 1 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

2 共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	260 機関 (260機関)
共同診療件数	0件
医療機器共同利用件数	260件
共同利用病床数	0床
共同利用病床利用率	0%
共同利用施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ○エックス線撮影装置 ○コンピューター断層撮影装置 ○磁気共鳴診断装置 ○ラジオアイソトープ装置 ○心臓血管カテーテル装置 ○体外衝撃波結石破碎装置 ○超音波診断装置 ○内視鏡検査装置 ○放射線治療装置 ○診療情報システム ○救命救急センター ○図書室 ○会議室 ○研修室 ○講堂 ○相談室 ○登録医控室 ○共同利用病床5床

3 救急医療の提供の実績

(1) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	10床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(2) 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	6,118人 (2,825人)
上記以外の救急患者の数	21,017人 (3,151人)
合計	27,135人 (5,976人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"> ○感染管理に関する研修 ○医療安全に関する研修 ○がん医療に関する研修 ○救命救急に関する研修 ○在宅医療に関する研修 ○災害医療に関する研修 ○緩和ケアに関する研修 ○臨床倫理に関する研修 ○認知症に関する研修 ○糖尿病に関する研修 ○その他、医療に関する研修

(2) 研修の実績

地域の医療従事者への実施回数 ※当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるもの	63回
上記の合計研修者数（うち院外参加者数） ※前年度の研修生の実数	832人（556人）
研修プログラムの有無	無
研修委員会設置の有無	有
研修指導者数	50人
研修施設	<ul style="list-style-type: none"> ○講堂 ○研修室 ○会議室 ○図書室 ○救命救急センター ○心臓カテーテル検査室 ○CT撮影室 ○MRI撮影室 ○手術室 ○NICU ○病理解剖室

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 石橋 悟
管理担当者氏名	総務人事課長 千田康徳
同上	情報管理課長 千葉 美洋
同上	地域医療連携課長 佐々木 功
同上	救急課長 亀山 勝
同上	教育研修課長 阿部 雅昭

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		病院日誌、診療日誌については総務企画課。その他の診療記録については電子カルテとして情報管理課が管理。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課	
	救急医療の提供の実績	救命救急センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	教育研修センター	
	閲覧実績	地域医療連携課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 石橋 悟	
閲覧担当者氏名	地域医療連携課長 佐々木 功	
閲覧の求めに応じる場所	相談室	
前年度の総閲覧件数	0件	
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
<p>第1回 平成30年7月24日(火)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院業務状況報告について ・今後の地域医療連携について ・肺炎ネットワークについて ・抗菌薬の適正使用について <p>第2回 平成31年3月5日(火)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院業務状況報告について ・抗菌薬の適正使用に関する研修会の報告について ・針刺し事故後のHIV感染予防薬の供給について ・登録医会について 		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

8 患者相談の実績

患者相談を行う場所	患者相談窓口・相談室・病棟等
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	伊藤茂樹(社会福祉士)、高橋斐美(社会福祉士) 長谷川光(社会福祉士)、中村真也(社会福祉士) 八島浩(社会福祉士)、澤田友美(社会福祉士) 佐々木千穂(社会福祉士)、橋本千賀(看護師) 菊地尚子(看護師)、菅野喜久子(看護師) 熊谷君代(看護師)、川野仁美(看護師)
患者相談件数	6,123件
患者相談の概要	
<p>○退院支援・転院支援(在宅・転院・施設) 社会資源の説明(病院・施設・制度・サービス等) 院内・院外関係機関との連絡調整や連携</p> <p>○経済問題の解決 制度の説明 関係機関との連絡調整</p> <p>○心理的・社会的問題の解決 院内・院外関係機関との連絡調整</p> <p>○受診・受療援助 受診のための手続きの説明 関係機関との連絡調整</p> <p>○がん相談支援業務 院内がん専門看護師との連携 関係機関・患者会との連絡調整</p> <p>○医療費支払い相談援助</p> <p>○生活保護法利用相談援助</p> <p>○身体障害者福祉法利用相談援助</p> <p>○年金法利用相談援助</p> <p>○家族問題調整援助</p> <p>○その他の法律についての利用援助 等</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

9 その他の地域医療支援病院に求められる取組み（参考）

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
② 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
③ 退院調整部門の有無	有
④ 地域連携クリティカルパスの策定	有

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。